



## プレスリリース

For Immediate Release

2024年4月3日

キャスリン・ブボルツ

アソシエイト・コミュニケーション・オフィサー

[kbubolz@spfusa.org](mailto:kbubolz@spfusa.org)

### 米国笹川平和財団

## 「日米同盟に不可欠な次のステップ：指揮統制 (C2)の近代化 (仮訳)」 発表のお知らせ

米国笹川平和財団（所在地：ワシントン DC）は、「日米同盟に不可欠な次のステップ：指揮統制 (C2)の近代化 (仮訳)」を発表しました。



日米両政府は、既存の同盟指揮統制が不十分であることをますます認識している。米国議会は、2024年国防権限法において、日本における米軍司令部の構造改編の実現可能性を6月までに調査することを国防総省に求めた。日本による統合作戦司令部の設立を補完することを目指した動きである。しかし、近代化の必要性は明らかであるものの、同盟の指揮統制を改善するための具体的な解決策は複雑であり、無数の利害関係者が関わっている。この課題に関する日米間の対話を促進するため、米国笹川平和財団の NEXT アライアンス・イニシアティブの支援により筆者らは一年以上にわたって、日米同盟に長らく関わってきた専門家、退役軍人や政府高官、両国の現職高官と協力し、同盟の構造を近代化する方法を議論・検討してきた。昨年5月には中間報告書を作成し、最終報告書もまもなく発表予定である。本稿では、この取り組みを踏まえた筆者らの見解が述べられている。

「日米同盟に不可欠な次のステップ：指揮統制 (C2)の近代化 (仮訳)」は、米国笹川平和財団のウェブサイトでご覧いただけます。本報告に関するお問い合わせは、エリム・ギュラム ([egulum@spfusa.org](mailto:egulum@spfusa.org)) までご連絡下さい。

米国笹川平和財団による本記事は、戦略国際問題研究所（Center for Strategic and International Studies）が2024年2月1日に発行した「[A Vital Next Step for the U.S.-Japan Alliance: Command and Control Modernization](#)」の正式日本語訳です。原文は戦略国際問題研究所の以下ウェブサイトに掲載されています。

###

### **米国笹川平和財団について**

米国笹川平和財団は、1990年にワシントン DC に設立された民間非営利団体です。米国笹川平和財団は、民主主義、法治、人権、市場経済に基づく国際社会の安定、平和、繁栄を念頭に置き、日米両国の相互理解の深化と関係の強化を目的としており、研究、発表、会合、人脈構築などのシンクタンク活動の充実を図って参ります。